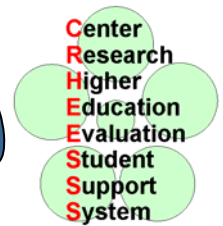


週刊センターニュース No.179



第179号(2007年10月22日)毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

○●○ 第162回共同学習会のご案内 ○●○

日時: 2007年10月26日(金)16時30分~18時 通常と曜日が異なりますのでご注意ください。

場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階大会議室

報告者: 福留 東土 (一橋大学大学教育研究開発センター・専任講師)

テーマ: 「ビジネス分野のアクレディテーション活動—AACSB-Internationalを中心に」

報告概要: 専門分野別のプログラム評価は、日本の認証評価の中でその必要性に関する議論が高まっている。本報告では、専門分野別評価の一例として、米国のビジネス分野のアクレディテーション団体である AACSB-International を取り上げる。米国における専門分野別アクレディテーションの展開と現状を概観した後、AACSB のアクレディテーション活動の現状について詳細に報告を行う。また、EU を拠点にビジネス分野のアクレディテーションを行っている EFMD をはじめ、国際的な動向についても合わせて紹介する。

○●○ 第4回専門分野別教育開発セミナー

(大学教育開発・支援センター主催、日本ESP協会共催)のご案内 ○●○

日時: 11月11日(日) 13:30~17:45

場所: 金沢大学サテライトプラザ3階集会室

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/satellite/

テーマ: 「大学における専門英語教育~理系を中心に~」

プログラム

第1部 講演

13:35~ 講演1「大学の専門教育と英語力強化問題—国際競争力との関連で—」

田中 慎也 (日本ESP協会会長代行, 元桜美林大学言語教育研究所所長, 日本言語政策学会会長)

14:25~ 講演2「ESP*からEGP**へ: 専門英語の手法で一般英語も上達!」

Judy Noguchi (武庫川女子大学薬学部教授)

第2部 シンポジウム「一般英語教育と専門英語教育を繋ぐには」

15:35~ 報告1「人間・機械工学科「機械技術英語」について」

渡邊 明敏 (金沢大学外国語教育研究センター教授)

15:55~ 報告2「Good Listening Comprehension and Poor Verbal Communication Skill」

Junko Okumura, PhD, MPH (金沢大学大学院自然科学研究科准教授)

16:15~ 議論 司会 西山 宣昭 (金沢大学大学教育開発・支援センター教授)

【申込み・問い合わせ】金沢大学大学教育開発・支援センター 西山 宣昭

TEL: 076-264-5862 FAX: 076-234-4172 E-mail: nnishiya@ge.kanazawa-u.ac.jp

事前申込締切日は、11月5日(月)です。

※詳細は、<http://www.kanazawa-u.ac.jp/events/07/1111.html> をご覧下さい。

〇●〇 平成 19 年度「大学評価研究委託事業」の選定結果について 〇●〇

先日の週刊センターニュースにおいて、文部科学省が、「機関別評価、分野別等評価における具体的な評価基準・評価方法等に関する参考となる多元・多様な事例を集積・提供し、大学等が利活用することにより、自ら行う自己点検・評価の一層の充実を図るなど、大学評価の質の向上に結びつけることを目的」として、大学評価研究委託事業の公募を開始する旨をお伝えしたところでありました。

この件につき、平成 19 年 8 月 10 日に公募が締め切られた後、「大学評価研究委託事業選定委員会」（委員長：清水康敬 独立行政法人メディア教育開発センター理事長）において、審査が行われ、選定候補がまとめられました。これを受け、平成 19 年 10 月 1 日付けで、選定事業の決定がなされました。

ここでは、採択された平成 19 年度「大学評価研究委託事業」の傾向を分析することを通じ、今後の大学評価政策の方向性を占っていきたいと思います。

まず、第一のグループとして、既に認証評価されている大学評価機関を対象としたものが挙げられます。こうした選定事業として、大学基準協会「専門分野別評価システムの構築 — 学位の質保証から見た専門分野別評価のあるべき方向性について —」、日弁連法務研究財団「法科大学院評価・判定基準のあり方の研究—『法曹に要求されるマインドとスキル』とその養成方法」などが挙げられます。

第二グループとして、新たな認証評価システムの構築を目指すべく、そのための準備の一環として、実施申請を行った事業が挙げられます。

これに該当する選定事業として、NPO 法人国際会計教育協会「会計大学院認証評価のトライアル評価等を通じた評価方法のモデル構築」、日本教育大学協会「教職大学院認証評価機関設立のための調査研究」などが挙げられます。

第三グループとして、いわゆる専門分野別大学評価システムの構築とその一層の発展・充実に係るものが挙げられます。そうした選定事業として、社団法人日本薬学会「薬学教育（6 年制）第三者評価実施システムの構築に関する研究」、日本技術者教育認定機構「理工農系を中心とする大学等分野別評価方法の高度化と普及事業」などが挙げられます。

こうした選定事業を通じて、大学評価システム構築・発展に向け、文部科学省としては、現時点において、次のような方向性を模索しているのではないかと、私自身考えています。

その第 1 は、まず何よりも、専門職大学院認証評価に関し、未だ認証評価機関の立ち上げられていない分野・領域に係る同機関の設立を促進させる事業を支援していこうとする姿勢が窺われる、という点です。

第 2 は、先の中教審諸答申においても、その実現に向けた提案のなされた「専門分野別評価」の仕掛けの構築を目指す事業への支援が指向されている、という点です。

当面の大学評価政策、とりわけ専門分野に特化した大学評価に関わる政策は、上記の視点を軸に展開されるもの、と考えてよいのではないのでしょうか。（文責：評価システム研究部門 早田幸政）

〇●〇 高等教育に関連する学会・セミナー情報 〇●〇

・ 10 月 27 日（土）13:00～17:00 私立大学フォーラム福岡開催「人材育成と産学連携」

（日本私立大学連盟）

パネリスト：西山徹（味の素㈱技術特別顧問）、肥塚浩（立命館副総長）、吉澤雅隆（経済産業省産業技術環境局大学連携推進課長）、宮本康彦（福岡大学理学部教授）

会場：ホテルクリオコート博多 4F「パロックの間」（福岡県福岡市博多区博多駅中央街 5-3）

問い合わせ先：社団法人 日本私立大学連盟ソーシャルリレーションズオフィス

TEL：03-3262-2463、E-mail：sro@shidairen.or.jp

※詳細は、http://www.shidairen.or.jp/blog/files/doc/20070626_b01_01.pdf を参照